

基礎・経済統計

1. はじめに

1. 基礎・経済統計とは

- 国民経済計算
 - 経済活動の計測法
- 数理統計学
 - 統計データの解析法
 - 経済統計概論で講義していた
- 本年度のカリキュラム「改革」により合同

2. 経済活動の計測(1)

- 経済活動を何ではかるか？
 - 売上げ(販売額)？
 - 小売りと卸売りの両方の売上げをカウントする
 - 小売り商店と卸売り商店を経由して消費されるとする
 - 卸売り価格+小売りマージン=小売り価格
 - 総売上額=(卸売り価格+小売価格)×数量
 - = [卸売り価格+(卸売り価格+小売りマージン)] × 数量
 - = [2×卸売り価格+小売りマージン] × 数量
 - 小売り販売額だけをカウントしたら
 - 小売りと卸売りの区別は厳密ではない

2. 経済活動の計測(2)

- 経済活動を何ではかるか？
 - 流通価格ではなく生産額合計ではかれば？
 - 部品生産と最終生産
 - 部品生産→最終製品生産→流通→消費
 - 最終生産価格=部品価格+生産者マージン
 - 単純に生産額合計ではかると
 - 生産額合計={部品価格+最終製品価格}×数量
 - = {部品価格+(部品価格+生産者マージン)}×数量
 - = [2×部品価格+生産者マージン]×数量
 - 部品生産だけ2倍のウエイト

2. 経済活動の計測(3)

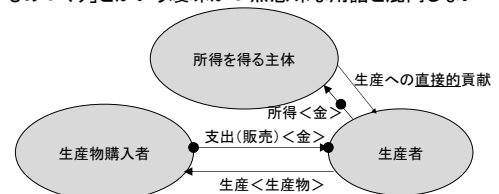
- 経済活動を何ではかるか？
 - 総所得合計ではかれば
 - 所得の定義
 - 給与所得者は明確だが、事業所得者は？
 - 所得の捕捉可能性
 - 所得税を取るのだから大変なのだ
 - 利子所得、配当所得は？
 - これってなんか売って(あるいは作って)得た所得なの？

2. 経済活動の計測(4)

金の流れ(黒丸が計測点)

生産=財・サービスの生産

「ものづくり」とかいう曖昧かつ無意味な用語と混同しない



3. フローとストック(1)

- よくある間違い
 - 年金基金は多くの積立金がある。年金問題は積立金から支払っていくので、日本の成長率低下問題とは関係ない
 - ストックである積立金がそのまま年々のフローといえる支出=年金支払いに直結すると誤解
 - 積立金を現金のままにしておけば、機会損失
 - なんらかの国内資産運用に回せば、その配当・売買損益は国民経済の成長と無関係ではいられない

3. ストックとフロー

- ストック
 - 経済活動を支える資産(元本)
 - ある一時点ではかる
 - 生産設備額, 資本金, 国債発行残高
- フロー
 - 経済のある期間における活動
 - ストックの変化につながるものもある
 - 生産量, 利子・配当受取, 財政赤字額

目標

GNP, GDPの意味を知る

ストックとフローの区別ができる

4. 統計セクションの目標

- 偶然と必然
 - 本当に「一事が万事」?
 - その「傾向」はただの偶然では?
 - 「偶然」のなかから「傾向」を取り出す
 - 「傾向」はないかもしれない
 - あった場合どんな傾向か?
 - これが統計学の役割